

新しい時代へ

佐々木総研グループ

代表 佐々木 直隆

明けましておめでとうございます。昨年末に政府の新成長戦略が出されました。6月に成長戦略実行計画という工程表が出される予定です。主なポイントを上げてみると

- ① 名目GDPを2020年に650兆円へ
- ② 2020年までの名目経済成長率を3%、実質経済成長率を2%に
- ③ 4年間で失業率を3%台に
- ④ 2020年までに環境分野で新市場50兆円、新規雇用140万人を創出
- ⑤ 2020年までに医療・介護・健康分野で新市場45兆円、新規雇用280万人を創出

というものです。

1980年以降の10年ごとの年平均の経済成長率は、1980年代が名目6.1%・実質3.8%、1990年代が名目2.0%・実質1.4%、2000年代が名目マイナス0.5%・実質0.7%です。

「失われた20年」といわれますが、3%成長というのは容易な事ではありません。我が国の人口は5年前より減少しはじめ、昨年は約7万5千人の減少でした。これから、出生率が上昇したとしても、今後20年は大きく減少していきます。少子高齢社会が本格的に始まったといってもいいでしょう。

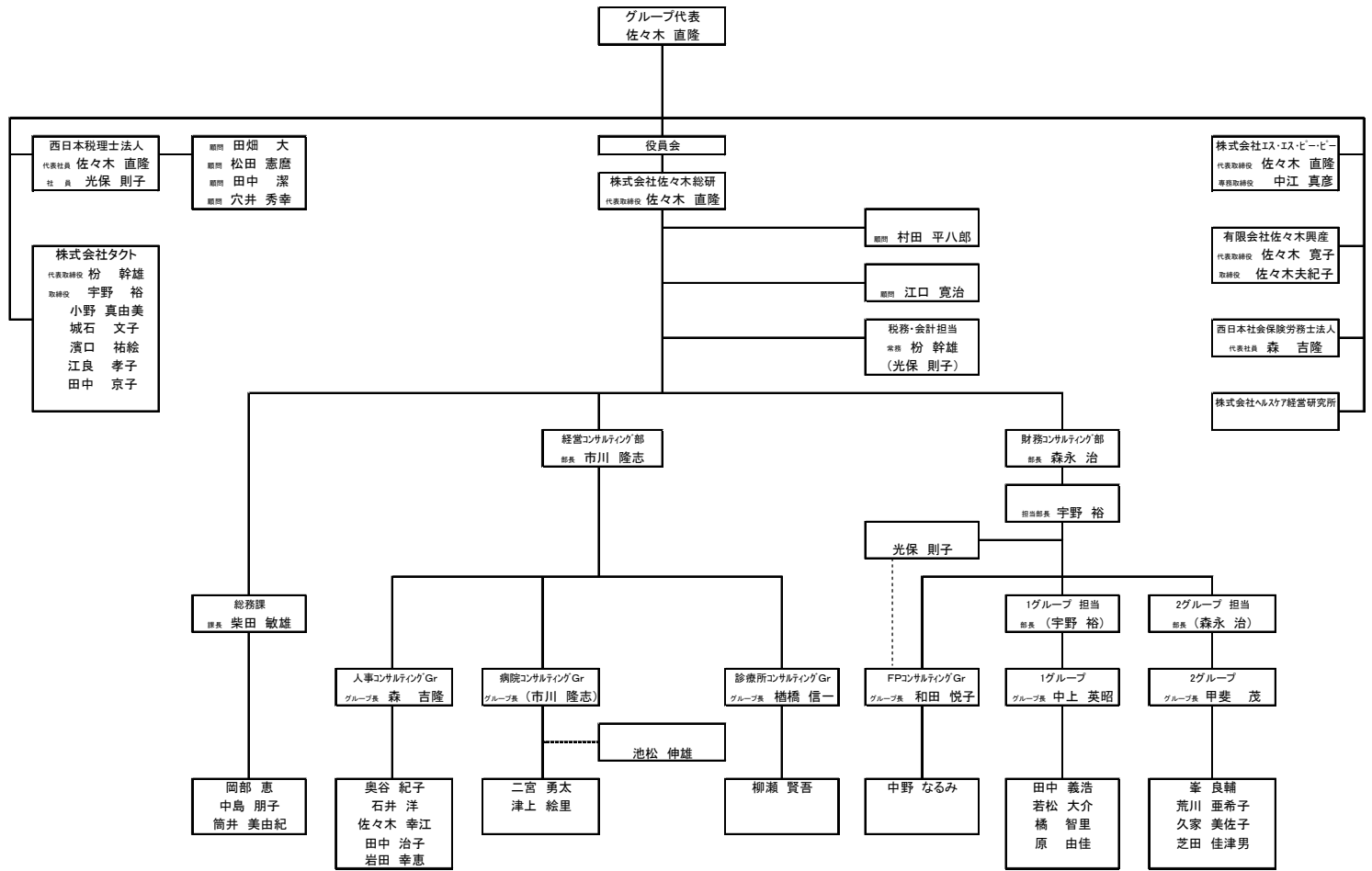
今まで通りでは、GDPは上昇どころか下降しかありません。最近、明治維新をテーマにしたドラマが増えていますが、まさに戦後65年を含めて、平成維新ともいうべき、大きな転換をしなければならない時に来ていると思います。ドラッグーによれば、18世紀以来の大きな変化であり、金融から情報の時代へ、新たな時代への苦しみの時であるといっていますが、我が国の先人達が過去、大きな試練を叡智と勤勉さと覚悟で乗り切ってきたように、再構築が求められています。原点に戻って考え抜き、行動していかなければなりません。新しい時代を切り開く、次の時代を創るのだという強い思いを持って、日々一歩ずつ、目標に向かって進んでいきたいものです。皆様方と共に歩んでまいりたいと思います。今年が皆様にとりまして佳い年でありますように、お祈り申し上げます。

合掌

2010年元旦

佐々木直隆

平成22年 佐々木総研グループ組織図



謹賀新年